

授業科目(ナンバリング)	臨床医学概論 (N4E229)			担当教員	高崎 伸也		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
生命活動のしくみを理解するために、必要最小限の医学的基礎知識を学修し、医療従事者として活動するために不可欠な基本知識・医学用語の意味が理解できるようになる。また、さまざまな組織・器官に生じる代表的な疾患の起こる原因・メカニズム・症候について理解できるようになる。既修事項をもとに、自分で考えて意見を述べることを通じて、これらの内容の興味と理解を深める。							②①
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1)基本的な医学用語の意味を説明することができる。(2)ヒト体内の器官・臓器が持つ生理的役割を説明することができる。(3)各組織・器官に生じる代表的な疾患の概要を説明することができる。				・定期試験	80%	
情報収集、分析力	生体の仕組みや病態のメカニズムに関して、講義中に問われた質問に対し、講義で聴いた内容を基礎として考え判断し、自分の意見を述べるができる。				・講義中の意見発表の回数および内容	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を 80%として、筆記試験を行う。基本的な医学用語の理解を前提として、ヒトの各器官・臓器の持つ生理的な役割や異常が生じた際の疾患概要に関する設問を、五者選択方式で出題する。 ・講義中の質問に回答した回数やその内容について 20%を基準として評価を行う。 							
授 業 の 概 要							
<ul style="list-style-type: none"> ・別途配布するプリントに沿って講義を進める。基本的な医学用語の意味(例:理学的所見、問診等)、疾患名(例:クッシング症候群)及びその概要についての修得を主眼として講義を行う。興味や理解を深めるために、双方向型授業や反転授業として、講義中に与えられた複数の質問に対して、回答を行う。その際、意見を述べやすいようにネットワーク環境を利用した匿名で回答できるシステム(イマキク)を利用する。そのため、スマートフォン、タブレット端末やパソコンなどインターネット接続できる機械を持参することが望ましい。状況に応じて Zoom およびポートフォリオを利用する。 ・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、112.5 分です。 							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：毎講義の前に配布するプリント。</p> <p>参考書および指定図書：(疾病と病態生理 第4版 南江堂 より詳しく学びたい人用)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の前提となる「機能形態学」の内容を事前に復習しておく。 ・講義中の質問に対して積極的に考え、そのために復習をして、自分なりの意見を述べることに喜びを感じて欲しい。これらを通じて生体の仕組みの巧妙さなどに興味を持つきっかけとして欲しい。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	総論と消化器系疾患(1)	健康と病気、消化器(食道・胃・十二指腸・小腸・大腸)の概要と主な疾患	総論と消化器系疾患の内容を復習しておく。	580/588-590/620/659-660
2	消化器系疾患(2)	肝臓・胆嚢・膵臓の概要と主要疾患(肝炎・肝硬変・肝がん)、バイタルサイン、創傷治癒、	肝臓・胆嚢・膵臓疾患の内容を復習しておく。	661-663
3	代謝系疾患	代謝異常と疾患の関係	代謝系疾患の内容を復習しておく。	669-671
4	血液系疾患(1)	血液の概要と生理的意義および疾患	血液系疾患の内容を復習しておく。	643-645
5	血液系疾患(2)	血液に関する疾患(白血病・血小板減少症)	血液系疾患の内容を復習しておく。	643-645
6	循環器系疾患(1)	心臓血管の概要、循環障害、生理的意味	循環器系疾患の内容を復習しておく。	635
7	循環器系疾患(2)	心臓血管の概要、循環障害、生理的意味	循環器系疾患の内容を復習しておく。	636-637
8	呼吸器疾患	呼吸器の概要、ガス交換とその異常	呼吸器疾患の内容を復習しておく。	655-657
9	免疫系疾患	免疫系の異常と疾患の関係	免疫系疾患の内容を復習しておく。	623/625/628/630
10	腎臓系疾患	腎臓疾患・泌尿生殖器(腎不全・糸球体腎炎・ネフローゼ)の病態生理	腎臓系疾患の内容を復習しておく。	647-648/650-651
11	内分泌代謝系疾患(1)	ホルモン異常と疾患の関係	内分泌系疾患の内容を復習しておく。	672-676
12	内分泌代謝系疾患(2)	ホルモン異常と疾患の関係	内分泌系疾患の内容を復習しておく。	672-676
13	脳・神経系疾患(1)	脳・神経系の概要、障害、生理的意味	脳・神経系疾患の内容を復習しておく。	610-612
14	脳・神経系疾患(2)	脳・神経系の概要、障害、生理的意味	脳・神経系疾患の内容を復習しておく	610-612
15	症候	14回までに触れていない様々な症候	様々な症候を復習しておく	580
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、大学HP掲載のコアカリSBO番号/項目対応表を参照して下さい。